

とよおか

令和元年度
第8号

日光市立
豊岡中学校

日光市芹沼
1958番地
0288-21-8215
発行責任者
校長 見目宗弘

12月23日発行

助産師さんに性に関する授業をしていただきました

11月19日(火)、獨協医科大学の藤岡容子助産師様を講師としてお招きし、性に関する指導をしていただきました。自他の命の大切さに気づき、今後の自分自身の生活や生き方を考えられるようにすることがねらいです。学級活動と体育の時間を合わせて二時間、それぞれの学年で授業をしていただきました。命の始まりについて、思春期について、異性とのつきあい方について等々、一、二、三年生の発達段階に応じたお話をしていただきました。



それぞれの学年の授業を受けた感想を載せます。

1年生男子

自分はこの世にひとつしかない、とても貴重な存在だから、命を大切にしていかなければいけないと思った。そして、将来につながるいけないとわかった。

2年生女子

今日の授業では自分たちが誕生する確率にびっくりしました。自分たちは二百五十兆分の一の確率で生まれてくるんだと思うと命を大切にして生活しようと思いました。また、お母さんは何時間も痛いおなかをさすりながら私たちを生んでくれたんだなと感動しました。お母さんに「ありがとう」と伝えたいです。

人権講演会 心がぽかぽか

12月12日(木)には元宇都宮大学教授の廣瀬隆人先生を講師としてお招きし、人権講話をしていただきました。

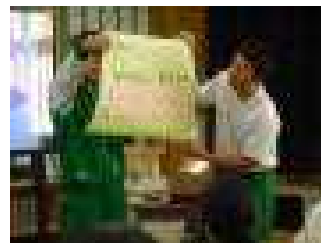
自分の好きなアニメ、給食、お菓子、テレビ番組、芸能人を五つ書き出し、ペアを組んだ人と見せ合い、共通するものについて話し合う授業です。各クラス生活班の中でペアを変えていき、交流を深めました。話し合っ

て感じた相手の良さを書き出し、最後にその人に渡し、す。とても心がぽかぽかになる授業でした。



1年生女子

普段あまりしゃべったことがない人としやべった時には、相手の好きなものを知れてとても良かったと思いました。相手と同じ意見のときにはとても身近に感じる事ができました。とてもおもしろい授業でした。



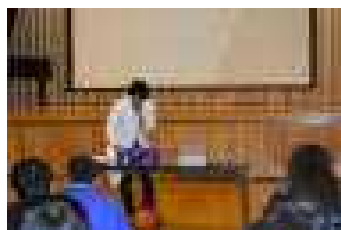
3年生男子

赤ちゃんを産むことがこんなにも大変なことだとは思いませんでした。本当に親に感謝です。忙しい中、かわいがってくれて本当に感謝です。また、自分は今、思春期の真っただ中なので、思春期がどういうものなのかを詳しく知ることができ、良かったです。

薬物乱用防止教室

12月4日(水)に学校薬剤師の和貝直亮様を講師としてお招きし、薬物乱用防止教室を実施しました。全学年に講話をしていただきました。

和貝先生からは身近な薬の正しい飲み方というお話から薬物乱用防止のお話をしていただきました。



今市工業の出前授業

12月5日(木)に中学3年生が今市工業の生徒と先生に出前授業をしていただきました。理科の「エネルギー」の単元です。ソーラーカー、ガソリンカー、いずれも今工生の手作りでした。



地球のステージ公演開催

12月18日(水)に桑山紀彦氏を講師としてお迎えし、「地球のステージ公演」を行いました。桑山氏は精神科医、心療内科医で、海外の被災地で国際医療支援活動を行っています。インド、フィリピン、パレスチナ、東ティモール等で体験されたお話や五大大陸の最高峰のお話をいただきました。

2年生男子

自分たちが過ごしている日常が外国では当たり前でないと改めて思いました。でも、外国の人々や子供たちは当たり前ではない中でも、小さな幸せを大切にしていることがわかりました。もし、自分があの爆撃を目の前にしたら、きっと何も考えられなくなり前を向けないと思います。それでも、あの環境の中で一人一人が夢をもち、店が壊れても自分の仕事をやり遂げている姿は、見ていてすごい、かつこいと思えるものでした。世界の貧しい生活はきつとつらいのだろうと考えることがありましたが、そうではなく、優しく一つ一つに感謝ができる素晴らしいものであることに気づきました。



3年生女子

世界の様々な場所のリアルな「今」を映像や画像、すてきな音楽とともに知ることができました。私たち日本人の生活水準は世界的に見ても高く、恵まれた環境にあります。でも、環境がよければ「幸せ」と考えるのは間違いだと思えるようになりました。空爆が起る地域もゴミの山で生活しているような地域も、いつ沈むかわからないキリバスという地域も、そこに暮らしている人には、そこでの味わえない「幸せ」があります。

ついつい目の前が入試のことなどで頭がいっぱいになってしまいうけど、それも幸せな悩みだなと感じました。不安になるくらいなら、今回学んだ地域の人たちの暮らしが少しでもよくなるような職に就くためにペンを動かそうと勇気をもらいました。

工業化を果たした日本などを含めた先進国が行わなくてはならないことがたくさんあると思います。日本が、世界が腐っていかないように、十代の私たちが意思のある立派な大人にならなくてはなりません。